



41号； 中表紙，目次，奥付

雑誌名	外国語教育論集
号	41
発行年	2019-03-31
URL	http://hdl.handle.net/2241/00155071

外国語教育論集

STUDIES IN
FOREIGN LANGUAGE EDUCATION

— 41 —

2019

筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター
外国語教育部門

Center for Education of Global Communication
Foreign Language Education Division
University of Tsukuba

目 次

巻頭エッセイ

CEGLOC における TILL (Tsukuba Integrated Language Learning) の取り組み CEGLOCセンター長 磐崎 弘貞	i
三点観測とハムスターの回転車	CEGLOC外国語教育部門長 白山 利信iii

論 文

Гендерные параметры национальной ментальности: концепт «Женщина» (на материале русской и японской культур) The gender parameters of the national mentality: the concept of "Woman" (in the Russian and Japanese cultures)КАТО Юри, БОЙЦОВ Иван, ДАНКЕР Зина (KATO Yuri, BOITSOV Ivan, DANKER Zina)	3
日本の英語教育政策に関する研究動向——アプローチ・テーマ・検討材料 青田 庄真・竹林 尚輝	19
ロラン・バルトの記号論的分類活動における「混合」の実践 金谷 壮太	35

付 録

平成 29 年度～ 30 年度 CEGLOC外国語教育部門活動報告	白山 利信 53
講演会報告	63
FD 研修会報告	64
春期海外語学研修報告	85
夏期海外語学研修報告	87
平成 30 年度教育戦略推進プロジェクト支援事業について	95
執筆者紹介	97
『外国語教育論集』投稿規定・執筆要項	98

執筆者紹介（掲載順）

磐崎 弘貞（いわさき ひろさだ） CEGLOC センター長
人文社会系教授（現代語・現代文化専攻）言語学

臼山 利信（うすやま としのぶ） CEGLOC 外国語教育部門長
人文社会系教授（文芸・言語専攻）ロシア語学、ロシア語教育学、言語政策論

加藤 百合（かとう ゆり） 人文社会系教授（文芸・言語専攻）
比較文学、日本近代文学、日露学問史

BOITSOV Ivan（ボイツォフ イヴァン） 人文社会系准教授（現代語・現代文化専攻）
ロシア語教育

DANKER Zina（ダンケル ジナ） サンクトペテルブルグ国立大学准教授
ロシア語教育

青田 庄真（あおた しょうま） 人文社会系助教（現代語・現代文化専攻）
英語教育、教育政策、教育行政

竹林 尚輝（たけばやし なおき） 教育研究科大学院生
英語教育、教育政策、教育行政

金谷 壮太（かなや そうた） CEGLOC 特任研究員 文学理論

『外国語教育論集』

投稿規定・執筆要項

(2017 年 6 月改訂)

(2018 年 11 月修正)

I. 投稿規定

1. 本紀要は、筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター外国語教育部門における教育および研究の振興、充実に資するために発行される。
2. 本紀要の名称を『外国語教育論集』とする（以下、『論集』と記す）。『論集』の刊行は、原則として年 1 回とする。
3. 『論集』を刊行するために当該部門内に編集委員会を置き、投稿規定および執筆要項の制定、原稿の募集、その他の編集業務は編集委員会の責任で行う。
4. 『論集』には、主に外国語教育に関しての、論文、研究ノート、書評、報告ならびに当該部門事業報告を掲載する。論文とは、研究倫理にかなった学術的に優れた論文を指す。研究ノートとは、①学術発表のための、あるいは論文化の可能性を見込んだ発想メモ、②研究動向や事実状況についての展望を述べたものを指す。第 40 号以降、これらの論文および研究ノートは、第 11 項に定める査読体制に基づいて審査される。
5. 『論集』への執筆資格は、以下の項目に該当する者に与えられる。
 - (1) 当該部門に勤務する教職員。
 - (2) 当該部門が開設する授業を担当する教員。
 - (3) 当該部門が開設する授業を担当する教員が指導教員である筑波大学の大学院生。
 - (4) 編集委員会において特別に認められた者。
6. 原稿は、未発表かつ未投稿のものであること。すでに口頭で発表した内容に基づいている場合、その旨を明記してあれば審査対象とする。
7. 論文および研究ノートの場合、単著の著者または共著の第一著者が提出できる原稿は 1 本とする。
8. 投稿者は、CITI Japan、eL CoRE 等の e-learning の研究倫理教育を投稿に先立って 5 年以内に受講していることとし、「誓約書」を編集委員会に提出すること。
9. 投稿者は、iThenticate 等の論文剽窃検知ツールにより自身の原稿のチェックを行うとともに、当該の原稿に、剽窃、データや資料の捏造、改ざん、個人情報等の不当な扱い等の不適切な作成方法が含まれていないという「誓約書」を編集委員会に提出すること。

10. 母語で書かれていない原稿は、投稿に先立って母語話者のチェックを受けておくこと。
11. 編集委員会は、1 件の論文につき 2 名の査読者、研究ノートについては 1 名の査読者を選定し、査読を依頼する。掲載の可否は、査読の結果に基づき編集委員会によって決定される。掲載の可否について査読者の意見が大きく異なる場合は、別の査読者に査読を依頼する。なお、査読の結果によっては、原稿の修正を求めることがある。
12. 投稿者は、査読結果について編集委員長に不服申し立てをすることができる。
13. 校正は第 2 校まで執筆者の責任で行い、第 3 校（最終校）は編集委員会が行う。校正期間（1-3 月）に出張等で不在となる場合は編集委員会に事前に連絡すること。
14. 掲載された論文および研究ノートの著者には、『論集』（印刷版）2 部を配布する。共著の場合は、各著者に 1 部ずつ配布する。また希望者には、費用を個人負担としたうえで抜き刷りを作成する。
15. 『論集』（PDF 版）は、つくばリポジトリにおいて公開される。

II. 執筆要項

1. 論文の分量は、論文概要、参考文献、注、図、表、付録を含めて、和文の場合 A4 判 40 字×36 行で 15 ページ程度（欧文の場合 A4 判 74 文字×32 行で 15 ページ程度）とする。制限枚数超過の際は、書き直しを求めることがある。査読結果によっては、採用を見合わせるか、報告または研究ノートとして取り扱う。
2. 投稿する原稿が論文である場合、論文概要（和文の場合 400 字程度、欧文の場合 150 語程度）を付すこととする。
3. 原稿は校正時に加筆を要しない完全原稿とする。校正時の本文の大幅な変更は認めない。
4. 使用言語は、CEGLOC で授業を開設している言語のいずれかとする。
5. 体裁は各研究分野の様式に基づいて構わない。ただし、注は本文の後に一括すること（脚注にはしない）。また、参考文献は注の後に付けること。
6. 原稿は、執筆者の氏名を記さずに作成するとともに、執筆者への参照となる記述を削除してアスタリスクで置き換えること。原稿の提出方法の詳細については、原稿募集の通知を参照すること。

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター（CEGLOC）紀要編集委員会
（外国語教育部門）

編集委員

委員長	高木 智世（英語）
委員	モリス ジェームズ（英語）
	ラーソン マイケル（英語）
	金谷 壮太（特任研究員、フランス語）
	納谷 亮平（特任研究員、英語）

編集後記

本年度も無事『外国語教育論集』の第41号が刊行され、大変嬉しく思います。刊行に至るまでの多くの細かな編集作業を大変丁寧かつ的確に進めてくださった金谷壮太特任研究員に深く感謝致します。また、納谷亮平特任研究員にもお力添えいただき、大変お世話になりました。そして、お忙しい中、貴重なお時間を割いて丁寧に査読してくださった査読者の皆様に心よりお礼申し上げます。

前号より査読者2名の体制となり、その影響か、投稿者数が減少したのが残念ではありますが、査読体制の強化は掲載論文の質に直結するものであり、今後、さらに多くの質の高い論文を掲載していけるものと考えております。結果として、『外国語教育論集』の学術的位置付けが引き上げられ、学内外において、本紀要が有意義で示唆に富む議論の場として広く認知され、CEGLOCの研究・教育がさらに活性化していく契機となることを願ってやみません。

高木 智世

外国語教育論集第41号

発行日	2019年3月31日
発行者	筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター 磐崎 弘 貞 茨城県つくば市天王台1-1-1 〒305-8577 Tel 029-853-2420
印刷所	アシストプロ株式会社 茨城県つくば市稲荷前24-18 〒305-0061 Tel 029-863-3010